

北見武道通信

令和7年7月10日 00751号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp



ニュースレター【事務局情報】北見剣心館大活躍！

7月5日(土)オホーツク中学校体育連盟が主催する「オホーツク中学校剣道大会(男子団体の部)」で北見剣心館が優勝しました。先鋒伊藤敬之甫(1年)次鋒伊藤慎之甫(3年)中堅西村和希(3年)副将斉藤日向(1年)大将工藤光祥(3年)の各選手で見事優勝しました。また、同女子団体の部でも

先鋒大石禪乃(3年)中堅



黒田心結(1年)大将工藤梨胡(3年)各選手が第三位に入賞し、優勝旗並びに賞状を手に北見市武道館に凱旋してくれました。指導にあたる佐藤素子先生は「地域クラブが始まり 北見剣心館で小学生より稽古を積んできた5名で出場した今回は2連覇がかかる大会となりました。リーグ戦初戦は苦戦を強いられましたが、次戦からはチームワークのとれた見事な戦いぶりでした」と子供たちをたたえていました。〈佐藤〉



北見市総合武道祭 6月14日(土)第29回北見市総合武道祭②番目に演武を行ったのは、北見居合道連盟で、無双直伝英信流 組太刀の部〈詰合の位〉を「仕太刀」田牧純一 英信流七段 「打太刀」吉岡 孝 英信流八段の両先生により披露されました。〈佐藤〉

連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一

＜柔道指導の心得＞＜序文＞3

私は、今、武徳会本部に在るが、武徳会本部に在ると、たくさんの武道修行者と交わる機会がある。また非常に多数の後進者と相語り、相勵む機会をも與えられる。自然これ等の人に学ぶ所も甚だ多く、このよき境遇に置かれて居る事もまた私の感謝しているところであるが、茲に、私は、これらの人々と語り合ったこと、乃至は、自分自身の体験くもちろん未熟なものはあるが、いささか、わが体験と、わが交友諸氏の研究とを綜合して、指導者としての所説を述べて見よう。が、元來私はあまりこんなことを云々するのは好まない。何故ならば、武道の修行は、要するに実行で、理屈ばかりでは到底修行が出来る者でないと信じているからである。然し指導者としては、指導の實際が大切であると同時に、指導の精神的方面・・・即ち指導上の心得も大切なのであるから、この点につき、平素私の考えていることを述べることにする。ただ一言、断っておきたいのは、以下、述べる所は、一言一句、一点一画も、みな私の体験と考えから出たものであって、その間先人の理論を真似たり、その諸説を借りたりしたものではないということである。即ち、あくまで、實際的な立場から説くので、先人の教書を敷衍するのではない。 つづく